

中和田カトリック教会
広報委員会発行
泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141
2000年3月5日

第256回

今月の予定

委員会 3月5日
灰の水曜日 3月8日
サロン 3月12, 26日
レジオ 3月10, 17, 24日

2000年3月号



いろいろなこと②

山崎正俊



その置かれた処に、自分の気の向くままに生きている。それまでの馴れたことに、いつの間にか、続けることが、きまりになっているようです。他のことができないかのように思い込まれているせいで、あいつは、あの程度の奴だとしか、期待されていないかのようにしており、心やすらかに、日を送り迎えて、「こともなし」という風（フウ）だ。

いつだれが、そうきめたのか、気にもしないで、他の人も、そのときときを、当りまえのこととして、それほど「特別の事」とも思わぬように見える。だから、好きなときに寝る。朝は、勝手な時に起きるの習慣を身に付けて、平然としており、自分の役柄を果たすには、それでよく、それがその責任を、その目的にむけて、充たすのだと信じておるらしい。これは不思議なことではないかと、この頃、気になりはじめる。それに、このような思いに、とりつかれることがなかったことこそが、「奇妙な事」ではなかったのか。

いつ、誰によって、この社会は、そうなってしまったのだろう。それが便利だからだろうか。いわゆる「時代劇」という物語りがあって、テレビを見ていると、その形式は、あまりにも、いまの仕来りに似ていたりでも、おかしげなことではないか、と思ってしまうことがあるのは、どうしたことか。これは、誰かと問題にして話し合ったことがなかったことだが、どうしたことだろう。

何処かで、そのようなことを改めようと、突然、話しがはじまったりしたら、どうなるかと、その混乱ぶりを楽しむことは、思いもよらないことのような気がしてくる。

これまで、身近かの人たちの真似（マネ）をしていたのに、それが嫌（イヤ）になっ して、別のことを始（ハジメ）るようになると、変り者だと云われるようになる。「変り者」とい 何故（ナゼ）のことだろう。変ったことをするというのだろうが、それまで普通（フツウ）におこなわれていたことなどと違うとか、きまりどおりのことをしなくなったとか、そのようなことなのらしいが、以前（イゼン）は良かったのに、これからは認められなくなったことなどを、していると、いうことらしい。歴史という、ごたいそうなことになるが、いつのまにか、ときよじせつ（時世時節）が違ったということか。

そのように、生きる基準が変わってしまったことが、その自然や形態の差異とかによって「ここでは、その身分や年齢の上下」にさえも、出てくることになる。ぼんやりしていると、「あいつは、ぼやけてしまった」ということになる。いやなことなのだけれど、いつの間にか、そういう、おかしげなことだ。

「時代おくれ」になったのだから、引退しなされときめつけられる。それを認めさせられそうになる。見た眼にも、しばらくするとそうなる（ようだ）。どうしたものだろうということにもなる。いたわられながら、そのような扱いに甘えて、すべてのことにそれまでとは、反応の度が遅れてしまっているようで、『長生<ナガイキ>しすぎたこと』になります。どうも、あいすみませぬことで、おじやりまする。

(2000. 2. 16)

委員会だより

<2月13日(日) 10名出席>

【1】財務報告：00年1月度決算報告

(単位:円、括弧内数字は00年度年間予算)

	00°収入累計	00°支出累計	収支差額
一般会計	1,243,359 (6,257,868)	424,679 (6,157,868)	818,680 (100,000)
建設会計	1,764,456 (3,356,956)	0 (2,795,000)	1,764,456 (561,956)
愛の献金	410,465 (780,065)	41,500 (320,000)	368,965 (460,065)
信徒預金	119,375 (619,375)	0 (440,000)	119,375 (179,375)

【2】議題:

- 総会で提案された月定献金の増額については、教会財政の現状を伝え、理解を得るために、甲斐委員がミサの場と教会報で説明をおこなう。
- 総会での質問事項について:
その1:「愛の献金」の処理方法については、扱いや処理は現在のままとし、過剰な繰越金は趣旨にそって指定外献金に使用し、残額を多くしないようにしていく。
その2:建設資金の利息の問題は、教会の不動産は教区の資産であって、中和田教会の担保にはなり得ないので、他からの借り入れはできない。
- 4月9日に予定の堅信式については、司教様のご都合などを伺った上で3月の委員会で検討する。
- 平成3年度の信徒総会の日程変更について
教区への会計報告が1月末日締切りで、その上最近チェックも細かくなっているため、事務処理上、信徒総会は今後1月の最後から二番目の日曜日とする。
- 叙階式のお知らせ:3月25日(土)午前11時から、聖ヨゼフ学園聖堂にて、ペトロ保久要さんの叙階式が執り行われる。阿部委員が列席の予定。
- お知らせ事項
1. 四旬節「十字架の道行き」:期間中の毎週金曜日・午後1時30分より。
2. 堅信(4/9)を受ける方のための勉強会:3月12、19、26日の3回、7時のミサのあと8:10から9:00まで。
3. 昨年11月に行なわれた「湘南キリスト教セミナー」の講演テープが書架にあります。貸出しノートに記入の上、ご利用ください。
4. 中和田教会のホームページが藤沢教会のページに併設されました。ご覧ください。アドレスは、<http://plaza10.mbn.or.jp/~fujisawa-church/>です。
5. ご復活祭の前の「ゆるしの秘跡」:今年は鶴飼神父様のご都合で共同告解はありません。各自ミサの前などに「ゆるしの秘跡」を受けてください。

壮年会だより

<2月20日(日) 10名出席>

◆報告

- 教会委員会が、2月13日に開かれその報告がありました。特に質疑もなく終了。詳細本号に掲載。
- 壮年会の新年会が、1月23日総会の後会場を横浜藤よしに移して行なわれました。出席者も予想以上に多く、賑やかで楽しい宴席となりました。今回は余興として、森田さんが三味線を弾きながら、数々の民謡を

解説付で唄って下さいました。一同思わず聞き惚れてウツトリとしてしまいました。さらに中和田教会が誇るハーモニカの名手、小谷さんのクラシック演奏と続き、お隣の座敷から賞賛の声が洩れるほど拍手喝采のひと時でした。

◆議題

- 3月の聖書朗読者:3/5(下村さん)3/26(小谷さん)
- 壮年会会計担当の山田(孝)さんが、昨年の秋頃から体調を崩され、いま通院治療中です。完治するまで大分長引く見込みだそうです。規定によりお見舞いを、差し上げることに決めました。
- 話題 新年会の席で、華麗なワルツを御披露なさった御長老の小谷さんが、ヤマハ(株)主催、アマチュア演奏家の為の新しいコンクールに、愛用のハーモニカを携えて挑戦し見事、第1次から第2次と難関の予選を突破されいよいよ3月11日、銀座王子ホールでの本選会に、15人まで絞られたその内の1人として出場なさいます。これ迄の、研鑽につぐ研鑽を続けられた御努力に対し、心から「ブラボー」と叫びます。
- その他 本年から、一粒会小教区委員に就任された宮崎さんから、本年初会議に出席され、その折の印象や感想を色々述べられました。一同共感することや、認識を新たにすることも多く大変有意義なひと時を過ごしました。内容をまとめて、いずれ発表したいと思います。

婦人会だより

<2月20日(日) 26名出席>

- 七浦昭子さん御入院、婦人会でお見舞いに伺う。
- 委員会報告
 - 5月の遠足予定希望地提案あったが内容検討後役員に任せる。
 - バザーの協力をお願い、作品2点(作り品に限らず)提出、材料は、自己負担。奉仕日は、3月より毎週火曜日、弁当持参10時より3時頃まで。婦人会よりおやつ代を出すことを承認3月7日よりスタート
 - 宣教委員報告
 - その他
・社会福祉法人 横浜いのちの電話へ、援助が半減し、耳の不自由な方へのファックス相談にお金がかかるので援助金を復活させていただきたい。
・いのちの電話主催 春の映画会 宋家の三姉妹 3月17日(金)チケットを購入されたい方は岩崎さんまで。
・聖歌の集い 6月25日 申し込み詳細は、掲示板
次回例会は3月19日(日)、次回当番はB地区です。

ミサ当番表 (2000年3、4月)

月/日	主日	朗読、奉納	オルガン
3/5	年間第九主日	壮年会	森田
3/12	四旬節第一主日	青年会	大宮
3/19	四旬節第二主日	婦人会B地区	美底
3/26	四旬節第三主日	壮年会	森田
4/2	四旬節第四主日	壮年会	大宮
4/9	四旬節第五主日	青年会	美底
4/16	受難の主日	婦人会C地区	岩淵
4/23	復活の主日	壮年会	森田
4/30	復活節第二主日	婦人会C地区	大宮

※当番の方は10分前には集合して下さい。ご都合の悪い方は典礼委員(萩原氏:Tel.802-6258)迄お申し出下さい。

